

一〇二二年度

群馬県立女子大学 文学部 国文学科

転入学及び編入学試験

「国語学・国文学及び漢文学」

試験問題

試験時間

11時  
00分  
12時  
30分

## 問題一

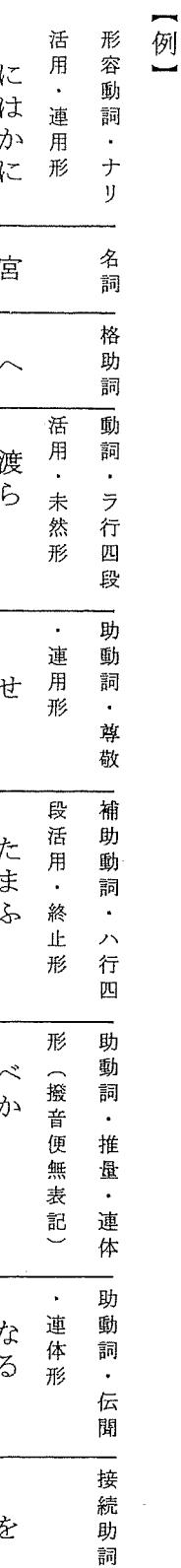
次の文章を読んであとの問い合わせに答えなさい。

年老いたる人の、一事すぐれたる才のありて、「この人の後には、誰にか問はん」など言はるるは、老いの方人かたうどにて、生けるもいたづらならず。さはあると、それもすたれたる所のなきは、一生この事にて暮れにけりと、つたなく見ゆ。「今はわすれにけり」と言ひてありなむ。おほかたは、知りたりとも、すざるに言ひちらすは、さばかりの才にはあらぬにやと聞こえ、おのづから誤りもありぬべし。「さだかにもわきまへ知らず」などいひたるは、なほまことに、道イのあるじともおぼえぬべし。まして、知らぬこと、したり顔におとなしくもどきぬべくもあらぬ人の言ひ聞かするを、「きもあらず」と思ひながら聞きゐたる、いとわびし。

(『徒然草』より)

注1 老いの方人 … 老人の味方。

問一 二重傍線部「おのづから誤りもありぬべし」を解答欄に書き写し、例にならって品詞分解しなさい。



問二 傍線部ア「つたなく見ゆ」とあるが、なぜそのように見えるのか。分かりやすく説明しなさい。

問三 傍線部イ「道のあるじともおぼえぬべし」を現代語訳しなさい。

問四 傍線部ウ「おとなしくもどきぬべくもあらぬ人」を現代語訳しなさい。

## 問題二

次の間に答えなさい。

- 問一 明治時代、大正時代の白樺派の文学について、具体例を挙げて説明しなさい。
- 問二 プロレタリア文学について、具体例を挙げて説明しなさい。

### 問題三

次の各問いに答えなさい。

問一 国立国語研究所編『日本言語地図』について説明しなさい。

問二 「あおぞら（青空）」という語における連濁現象について説明しなさい。

問三 ラ行変格活用動詞にあたる語をあげて、活用の特徴を説明しなさい。

問四 助数詞について具体例をあげて説明しなさい。

問五 指示詞について具体例をあげて説明しなさい。

## 問題四

次の文章は、『後漢書』の一節である。これを読んで、後の問い合わせに答えなさい。

酒泉龐淯母者、趙氏之女也、字娥。父為同縣人所殺、而娥兄弟三人、時俱病物故。刺殺之<sup>(1)</sup>也。娥陰懷憤<sup>(2)</sup>、乃潛備刀兵<sup>(3)</sup>、常帷車以候讐家<sup>(4)</sup>。十余年不<sup>(3)</sup>能得。後遇於都亭<sup>(5)</sup>、  
以為莫已報也。娥陰懷憤<sup>(2)</sup>、乃潛備刀兵<sup>(3)</sup>、常帷車以候讐家<sup>(4)</sup>。十余年不<sup>(3)</sup>能得。後遇於都亭<sup>(5)</sup>、  
刺殺之<sup>(1)</sup>也。因詣縣自首、曰「父仇已報、請就刑戮」。福祿長尹嘉義レ之、解印綬<sup>(2)</sup>欲與俱亡<sup>(4)</sup>。娥  
不<sup>(4)</sup>肯<sup>(5)</sup>去。曰、「怨塞身死、妾之明分。結罪理<sup>(3)</sup>獄、君之常理。何敢苟生以枉公法」。後遇赦得免。

【注】酒泉…郡名。郡治は、福祿。帷車…とばかりを張った車。都亭…亭は行政単位。中心的な亭が都亭。印綬…役人の印鑑を結ぶ紐。官吏のシンボル。結罪…罪を結審する。理獄…裁判を行う。

- 問一 傍線部（1）を書き下し文に改めなさい。（歴史的仮名遣い。以下同じ）
- 問二 傍線部（2）について、なぜそうなのか。理由を答えなさい。
- 問三 傍線部（3）は、どういう意味か。具体的に答えなさい。
- 問四 傍線部（4）をひらがなのみの書き下し文に改めなさい。
- 問五 傍線部（5）の「枉公法」とは、どういう意味か。文脈に即して答えなさい。